

# SCIENCE PARK

関西大学初等部中等部高等部 理科通信

平成26年5月23日発行



2014.4.25

## 離弁花と合弁花の解剖(J1理科β)

授業者：宮本裕美子

「花のつくりとはたらき」の単元において、花の解剖をしました。花卉を1枚1枚丁寧にはがすと、アブラナは離れていますが、ツツジはひっついていました。次に、めしべの根元をカミソリで開くと「わー！赤ちゃんがいっぱいいる！」という声。実験のあとは考察です。なぜおしべはこんなにたくさん必要なの？なぜ花びらの色はこんなに鮮やかなの？なぜめしべの先はべとべとしてるの？生きていくために花が考えた作戦。クラスのみんなはどのように考えたのでしょうか？

## 生き物のように動く振り子(E5理科)

授業者：長戸基

振り子を揺らすと「オー！」という歓声が。振り子の糸を少しずつ長くして並べ、同時に揺らし始めると…振り子は、クネクネとまるで生き物のように波打って動きます。波が崩れた後も全体が2つに分かれて揺れるなど、不思議な動きをします。5年生「ふりこのきまり」の学習を終えた後、この振り子をみんなで観察しました。

動画を見たい方は、下のURLにアクセスしてください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=jkpclwLwD6A>



2014.5.15



2014.4.28

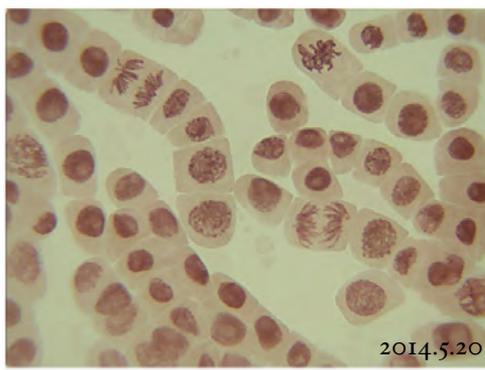
## ツルグレン装置でcatch me!(S2生物) 授業者：小藤佳子

地球上が落ち葉や糞、死骸でいっぱいにならないのはなぜでしょう？そこで、土壌動物の観察に挑戦しました。土壌動物が乾燥を嫌う性質を利用したツルグレン装置を使い、土から追い出した土壌動物を顕微鏡で観察しました。ワラジムシやミミズ、ダニやムカデを観察すると、食べた落ち葉がソーセージのように消化管の中を移動しているのが分かります。この落ち葉ソーセージは、糞として体外に出ると、バクテリアやカビなど分解者のごちそうになります。

## 細胞分裂観察(J3理科β)

授業者：宮本裕美子 松村湖生 森岡啓

ニンニクの根を使って細胞分裂の観察を行いました。土曜日の夕方にニンニクを水につけておくと、月曜日の朝には根が3cm~5cmにまで伸びていました。活発な細胞分裂が行われている証拠ですね。伸びた根の先端を観察してみると…。前期、中期、後期、終期と細胞分裂の各ステージがたくさん見つかりました。ニンニクの染色体の数は16本。分裂中は32本になりますが、きっちり数えられるくらい鮮明に観察できた生徒もいました。



2014.5.20